

「海洋都市横浜 うみ博 2017」に おける船模型展示

期間：2017年8月5日～8月6日

会場：横浜港 大さん橋ホール神奈川大学ブース

和船模型の出張展示

窪田 涼子

8月5日・6日の両日、海洋都市横浜うみ博協議会が主催する「海洋都市横浜 うみ博 2017」に、本研究所が所蔵する大型の船模型を出展した。会場は大型客船が着岸できる「大さん橋」にあるホールで、当日は、横浜市内の大学・研究機関、企業などがブースを構え、海洋開発や研究について写真パネル等で紹介が行われるなか、会場の最奥に陣取った神奈川大学のブースに並ぶかたちで、弁財船（菱垣廻船）、鎌倉期の廻船、中国明代の商船の3艘の模型を展示した。



写真1 多数の来場者に船模型を説明

夏休み真っ最中ということもあり、会場には多くの親子連れが来場し、子供たちには顕微鏡やタッチプール、ペンギンなどが大人気であったが、船模型にも「船好き」「機械好き」「模型好き」のお父さんたちを中心にややマニアックな人気集中した。みな一艘ずつ時間をかけて丹念に観察し、船の構造や歴史などについてのかかなり専門的な質問が多く出された。また「神奈川大学って丘の上にあるのにこんなに素晴らしい船の模型をもっているのですね」という、神奈川大学と船の意外な取り合わせに驚く声も聞かれた。



写真2 設置のために帆柱を立てる

今回の出展に際し、模型の搬出・搬入と展示作業が一つの課題でもあった。出展した3艘はすでに大学3号館展示ホール企画展示室に展示されているものであったため、搬出するためには、帆をたたみ帆柱を倒して輸送、会場に設置して帆柱を立て、帆を上げる、という作業を確実に素早く行う必要があったが、これは昆政明所員と和船研究会のメンバーが事前準備から搬出作業までを一手に引き受け、スムーズに行うことができた。当日の解説も含めて、和船研究会の多大なお力添えがなければ「うみ博」出展は成り立たなかったと思う。記して感謝申し上げたい。